

令和6年1月12日



# 西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.10(78号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

## 新年のはじまりにあたり

校長 梅澤 薫

新春を迎える学園だよりではありませんが、新年のご挨拶に先立ち、令和6年能登半島地震にて被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災から日数が過ぎる中、現地で不安で不自由な生活を続けられている皆様や、学校再開が遅れるなど厳しい環境におかれている子どもたちに思いを馳せると、いたたまれない気持ちでいっぱいになります。被災地の一日も早い復興と被災された方々にとって少しでも安心が感じられるような日々が訪れますことを心よりお祈り申し上げます。

年末年始の休み中、まさに新年を迎えた日に今年は大きな災害に見舞われました。徐々に明らかになっていく被災の大きさに今も驚きと悲しみが増していくばかりです。日々伝わる被災地の情報に触れるとともに、2011年の東日本大震災や、1995年の阪神淡路大震災のことを思い出しました。東日本大震災に関しては、私にとって身近で起きた最も大きな災害であったせいか、震災当日の混乱はとて印象に残っています。また、学年末だったこともあり震災直後の小学校の卒業式などでは、停電により放送設備が使えず、また余震に注意しながら足元には防災ヘルメットなどを準備して当時の6年生が卒業式に臨んでいたという姿も忘れられません。ところが、月日が過ぎて徐々に当時の印象や災害に対する緊張感が薄れてきていることも事実です。改めて当時の体験や考えたこと、その後の行動や考えに影響を与えたことなどについても思い起こし、東日本大震災を経験していない子どもたちにもしっかりと安全教育の意識を伝え、高めたいと思うところです。

改めまして、児童・生徒の皆さん新年あけましておめでとうございます。この1年も一人ひとりがそれぞれの目標に向かって取り組んでいく姿を多く見られることを楽しみにしています。保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解いただきありがとうございます。本年も引き続きご支援よろしく願いいたします。

1月9日(火)に、全校児童生徒が揃った3学期始業式と共に、西金沢学園の令和6年が始まりました。子どもたちには話しましたが、9つの学年が揃って臨む式などは年間を通して意外と少なく、今年度も3学期の始業式が最後になります。大きく年齢が異なる子どもたちへの語りかけ方にはまだ難しさを感じますが、一方で全体を見まわしながら話をするのは、それぞれの学年の育ちの姿を実感できる、とても楽しい時間です。今回は中でも、整列の両端を固める6年生と9年生には頼もしさを感じました。修了式や卒業式に向かう学年としての心構えが現れているのかとも思っています。他の学年の子どもたちも落ち着いた雰囲気ですっかりと話を聞き、新年のはじまりにふさわしい式ができたことと喜んでいただいております。式の中では、児童・生徒の代表が3学期や次年度へ向けての思いを話してくれましたが、一人ひとりがそれぞれの志をもって1年のはじまりを迎えてくれることを望んでいます。

3学期は期間の短い中、1年間の成果を様々な形で感じたり収穫したり、あるいは、次年度の準備をしながら毎日を過ごすせいか、子どもたちも教職員もなんとなく忙しく慌ただしい感じの生活が続いていきます。少し難しいかもしれませんが、その様に時間が流れていく時期だからこそ、子どもたちには少し進んで振り返ることができる余裕をもつことや、周りに心配りができる視野の広さを備えることを新年の目標の一つに加え、しっかりと歩みを進めていってほしいと思います。